

令和4年度

行政評価結果

【第3巻 事前評価】

評価からはじめるまちづくり

令和5年3月

盛岡市

事務事業事前評価

令和5年度以降、新しく実施及び拡充を予定している事業について、事前評価を実施しました。

この評価は、新規・拡充事業について目的妥当性や有効性などの観点から事業内容を評価して事業の必要度を判断することで、厳しい財政状況の中で効率的な市政運営を行うために実施するものです。

令和4年度は、総合計画実施計画の計画期間である令和5年度に実施を予定している24事業について評価を行いました。

事業毎の評価結果は次のページのとおりです。

なお、事前評価で「推進」または「一部推進」と評価された事業であっても、事業の優先度や緊急性などの観点から予算措置されなかった事業があります。また、「見送り」と評価された事業であっても、評価結果や予算編成までに生じた状況の変化を踏まえて事業の内容を見直した結果、予算措置された事業があります。

記

区分	事業数
推進	13
一部推進	1
見送り	10
計	24

事務事業事前評価一覧

1 まちづくりの取組

No.	新規 拡充 の別	施策名	事業名	事業概要	事業 年度	R5計画額 ※拡充事業は 拡充分のみ	評価結果 (方向性) ※11/1時点	備考
1	拡充	子ども・子育て、若者への支援	婦人相談システム導入事業	婦人相談員活動事業に係る婦人相談員によるケース記録等事務処理の効率化、相談者情報の一元管理に基づく実益性向上及び困難な問題を抱える女性への支援に関する法律への対応を目的として婦人相談システムを導入するもの。	5 ~ *	1,793千円	見送り	事業実施により見込まれる効果を精査のうえ、事業の必要性を再検討することとしたもの。
2	新規	子ども・子育て、若者への支援	自治体相談業務支援サービス導入事業	相談員の対話技術の向上や相談時の確認漏れを防ぐとともに、業務負担の軽減を行うため、自治体相談業務支援サービスを導入し、子育て世帯に対する支援の充実と業務の効率化を図るもの。	5 ~ *	9,064千円	見送り	事業実施により見込まれる効果を精査のうえ、事業の必要性を再検討することとしたもの。
3	拡充	子ども・子育て、若者への支援	医療費給付事業（高校生等）	医療費助成事業を高校生等まで対象拡大するもの。	5 ~ *	108,499千円	推進	
4	新規	子ども・子育て、若者への支援	特定妊婦等の初回産科受診等支援	特定妊婦及び思春期の児童であって、産科婦人科受診が必要と把握した場合に、その状況を確認し、必要に応じて産科婦人科等医療機関への同行支援や初回産科受診料の支援を行うことにより、予期せぬ妊娠に悩む方をサポートするもの。	5 ~ *	122千円	推進	
5	新規	高齢者福祉の充実	認知症高齢者賠償保険支援事業	盛岡広域シルバーケアSOSネットワークシステムに登録している認知症高齢者に損害保険を付保することにより、事故に起因して発生した社会的損失を補償するもの。	5 ~ *	1,971千円	推進	
6	新規	高齢者福祉の充実	既存高齢者施設等再整備事業	既存高齢者施設等については経年による老朽化が進み、今後建替え等を要する見込みであることから、今後の中長期的な需要等を踏まえ、改築整備が必要となる施設の運営法人にその経費を補助するもの。	5 ~ *	210,000千円	見送り	対象施設全体の状況を把握したうえで、補助の制度化について再検討することとしたもの。
7	拡充	健康づくり・医療の充実	成人健康診査事業	現在、集団で実施している骨粗鬆症予防検診を医療機関で受診する個別化を図ることで、より多くの市民に受診の機会を与え、骨粗鬆症疑いがある人の早期発見、早期治療を行うことで、介護予防、寝たきり防止につなげ、市民の健康増進と維持を実現するもの。	5 ~ *	9,538千円	推進	
8	新規	「盛岡ブランド」の展開	シティプロモーション推進事業	市内外に「盛岡を愛する人」を増やし、盛岡市が選ばれる都市となることの達成に向け、市外住民が盛岡の情報に接触する機会を増やし、盛岡に興味・関心を持ってもらうためのプロモーションを実施する。	5 ~ *	29,600千円	推進	

(参考) 予算措置の状況	
R5 当初予算案	備考
0千円	
0千円	
98,705千円	精査により事業費を減額したものの。
107千円	精査により事業費を減額したものの。
0千円	
0千円	
0千円	
0千円	

No.	新規 拡充 の別	施策名	事業名	事業概要	事業 年度	R5計画額 ※拡充事業は 拡充分のみ	評価結果 (方向性) ※11/1時点	備考
9	新規	子どもの 教育の充 実	統合型校務支援システム導入事業	県で全県統一の導入を予定している「統合型校務支援システム」へ参加するため、令和5年度の構築費用及び令和6年度以降の運用・保守費用について当市分を負担するもの。この事業によって、教育の質の向上や教職員の業務負担を軽減する効果が見込まれる。	5 ~ *	32,060千円	推進	
10	新規	社会を担 う人材の 育成・支 援	男性育児休業取得促進事業	男性の育児休業の取得を促進するため、男性従業員に育児休業を取得させた企業に対し支援金を支給するもの。 1企業 10万円 × 10社 (1企業1回限り)	5 ~ *	1,000千円	見送り	解決すべき課題に対して有効な事業内容か再検討するため。
11	拡充	地球環境 の保全と 自然との 共生	地球温暖化対策実行計画推進事業	市域全体の温室効果ガス排出量を、2030年度までに2013年度比で51%削減、2050年度には実質ゼロにするという目標に向けた取組を実施するもの。	5 ~ 12	108,000千円	見送り	事業実施により見込まれる効果を精査のうえ、事業の必要性を再検討することとしたもの。
12	新規	農林業の 振興	集落営農活性化プロジェクト促進事業	集落営農組織の構成員の高齢化や減少が進む中で、将来にわたって持続的に発展することができるよう、地域の関係機関のサポートを受けながら、集落営農の活性化に向けたビジョンづくりや人材の確保、新たな作物の導入等の取組を総合的に支援するもの。	5 ~ *	4,500千円	推進	
13	新規	農林業の 振興	盛岡市雇用就農促進事業	雇用就農者の確保・育成を推進するため、新規就農者を雇用して研修を行う農業法人等に対する支援を行うもの。	5 ~ *	6,000千円	見送り	解決すべき課題に対して有効な事業内容か再検討することとしたもの。
14	新規	農林業の 振興	木育推進事業	小中学生に対し、林業や森林資源の活用について教育・啓発活動を行うとともに、地域の木材の良さを体感してもらい、市産材の更なる活用を進めるもの。	5 ~ *	3,044千円	推進	
15	新規	農林業の 振興	林道整備事業	大ケ生地域と根田茂地域を結ぶ林道一盃森線の道路改良(舗装、側溝整備等)を行うもの。	5 ~ 9	32,000千円	見送り	費用対効果に留意して事業内容を再検討することとしたもの。
16	拡充	商業・ サービス 業の振興	(仮称)商店街振興事業費補助金	商店街のニーズの変化等を踏まえ、現行の①商店街活性化支援事業補助金、②商店街活性化事業補助金、③商店街情報発信事業補助金の制度を統合するとともに、補助対象経費の内容の見直しを行うことで、商店街の利便性の向上及び商店街事業の活性化を図るもの。	5 ~ 7	3,000千円	推進	
17	新規	商業・ サービス 業の振興	タウンマネージメント機関支援事業	新たな中心市街地活性化プランの策定に併せて、中心市街地における民間活力の活性を図る新たな補助事業を創設するほか、地域活性化企業人制度を活用することで、タウンマネージメント機能を強化しようとするもの。	5 ~ 7	12,100千円	推進	

(参考) 予算措置の状況	
R5 当初予算案	備考
0千円	
0千円	
0千円	
4,500千円	
0千円	
3,044千円	
20,000千円	事業内容を見直し、大雨等の影響を受けやすい砂利道について、路面侵食防止のため、急こう配箇所等に舗装や排水施設の整備を実施し、林道機能の向上を図ることとしたもの。
0千円	
5,600千円	地域活性化企業人制度を活用したタウンマネージメント機能の強化のみ実施することとしたもの。

No.	新規 拡充 の別	施策名	事業名	事業概要	事業 年度	R5計画額 ※拡充事業は 拡充分のみ	評価結果 (方向性) ※11/1時点	備考
18	新規	商業・ サービスの振興	(仮称)もりおか企業生産性向上支援拠点整備サウンディング調査事業	アフターコロナに向けて、中小企業の生産性に因るための拠点について、市有地を活用した民間投資による整備の可能性調査を実施するもの。	5	5,500千円	推進	
19	拡充	工業の振興	成長分野拠点形成支援事業	盛岡市ヘルステック産業振興戦略を実現するため、ヘルステッククラスター拡大、ベンチャー企業創出、ヘルスケア産業の創出・育成、高度人材や起業人材の育成、若者の地元定着の推進に資する事業等を実施しようとするもの。	5～7	16,342千円	一部推進	推進：ベンチャー企業創出に向けた専門家による支援 その他の事業については、解決すべき課題に対して有効な事業内容となっているか再検討することとしたもの。
20	新規	交通環境 の構築	いわて銀河鉄道線新駅整備事業	新市建設計画及びもりおか交通戦略（第二期）に基づき、新駅の整備を行うもの。	5～10	36,000千円	見送り	費用対効果に留意して事業内容を再検討することとしたもの。
21	新規	交通環境 の構築	前潟駅パークアンドライド社会実験事業	前潟駅開業に合わせて公共交通の利用促進をより効果的に加速させるため、駅周辺商業施設がパークアンドライド駐車場を実施する際に、利用者に対し施設内で利用できるポイントを付与する費用の一部を補助するもの。	5	500千円	見送り	解決すべき課題に対して有効な事業内容か再検討することとしたもの。

(参考) 予算措置の状況	
R5 当初予算案	備考
0千円	
0千円	
500千円	事業内容を見直し、新駅整備に向けて、設置の検討状況などの周知を図るため看板等の設置を行うこととしたもの。
0千円	

2 自治体経営の取組

No.	新規 拡充 の別	施策名	事業名	事業概要	事業 年度	R5事業費 ※拡充事業は 拡充分のみ	評価結果 (方向性) ※11/1時点	備考
22	新規	経営資源 配分の最適化	申請受付サービスの導入	総務省「地方公共団体におけるオンライン利用促進指針」を踏まえ、マイナポータルでは実施できない手続きをオンライン化するため、電子申請システムの導入を行うもの。	5～*	8,140千円	見送り	マイナポータル活用の効果を検証したうえで、必要性について再検討することとしたもの。
23	新規	経営資源 配分の最適化	リモート窓口の導入	令和4年度の実証実験を基に、パソコンやスマートフォンを所有していない高齢者等とのデジタル格差を解消するため、市役所に来庁せず、公民館等の公共施設等で手続きを可能とするリモート窓口の導入を行うもの。	5～*	6,290千円	推進	
24	新規	健全な財政運営の実現	預貯金照会電子化事業	差押等に先立って、金融機関に対し紙ベースで行っていた滞納者に係る「預貯金照会」を電子ベースで行う事業。業務の迅速化、効率化、事務負担の軽減、情報セキュリティの強化を図るもの。	5～*	1,291千円	推進	

(参考) 予算措置の状況	
R5 当初予算案	備考
0千円	
0千円	
0千円	